

1. 科目名 (単位数)	多文化コミュニケーション (2単位)		3. 科目番号	
2. 授業担当教員	アルト ヨアヒム (Joachim ALT)			
4. 授業形態	講義、ペアワーク、グループディスカッション、グループ発表	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・他科目との関係	多文化理解入門と共通する内容がある。より深い理解のために両方を受講することをおすすめする。			
7. 講義概要	グローバル化が進むにつれ、異なる母語・習慣・価値観をもった人たち同士の多文化コミュニケーションは日常的になりつつある。本講義は、自分の視野をこのような多文化「共生社会」にむけて広げ、必要とされるコミュニケーション能力を修得することを目的とする。具体的には、多文化コミュニケーションを構成する「言語」「コミュニケーション」「文化」の3つの基本的概念を理解し、多文化コミュニケーションのしくみを理解する。次に、様々なコミュニケーション活動や教科書のエクササイズを行い、多文化コミュニケーションのスキルを理解し養っていく。最後にグローバル時代における多文化コミュニケーションの役割と多文化共生の在り方について自分なりの意見を発信する。			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 多文化コミュニケーションを構成する基本概念とそのしくみについて理解する。 2. 多文化コミュニケーションのスキルを理解し身につける。 3. グローバル時代の多文化コミュニケーションの役割と多文化共生の在り方について自分の意見を発信できる。 			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前学習として、毎回指定された教科書の課題(「セルフチェック」と「ステップアップエクササイズ」) 2. 第1回目～第8回目の授業の内容に基づいた中間発表 3. 期末レポート 			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 八代京子その他 著『異文化コミュニケーションワークブック』三修社、2001年。 【参考書】 授業時に指示する。 【プリント】 基本的でない。パワーポイントのスライドなどを利用する場合、デジタルに提供する。印刷は各自で自由。</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多文化コミュニケーションを構成する基本概念とそのしくみについて理解できたか。 2. 多文化コミュニケーションのスキルを理解し身につけることができたか。 3. グローバル時代の多文化コミュニケーションの役割と多文化共生の在り方について自分の意見を発信できたか。 <p>○評定の方法</p> <p>以下の点を総合して評価する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業への参加態度 総合点の 30% 2 試験 (小テスト・期末テスト・口頭発表試験 等) 総合点の 30% 3 提出課題 (レポート等) 総合点の 40% 			
12. 受講生へのメッセージ	多文化コミュニケーションとは二つのキーワードがある。「文化」と「コミュニケーション」。この授業で、文化とコミュニケーションの関係を考察し、異なっている文化の間に行われるコミュニケーションの注意点と特徴について学ぶ。			
13. オフィスアワー	未定のため、初回の授業中にお知らせする。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション・授業の要約・イントロダクション	事前学習	教科書の「はじめに」と目次を読み、教科書の内容を考えてくる。	
		事後学習	シラバスの重要事項をノートにまとめる。	
第2回	第1章 異文化コミュニケーションとは1:新しい常識・ステレオタイプ・異文化理解への態度(pp.9-21)	事前学習	pp.9-21 までの「セルフチェック」と「ステップアップエクササイズ」を完成しておく。	
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。	
第3回	第1章 異文化コミュニケーションとは2:文化とコミュニケーション(pp.22-35)	事前学習	pp.22-35 までの「セルフチェック」と「ステップアップエクササイズ」を完成しておく。	
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。	
第4回	第6章 自分を知る:異文化適応力チェック・共感(エンパシー)(pp.123-134)	事前学習	pp.123-134 までの「セルフチェック」と「ステップアップエクササイズ」を完成しておく。	
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。	
第5回	第2章 コミュニケーションスタイル:コンテキスト・自己開示・パラ言語(pp.39-42, 46-57)	事前学習	pp.39-42, 46-57 までの「セルフチェック」と「ステップアップエクササイズ」を完成しておく。	
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。	
第6回	第3章 言語コミュニケーション 1:ほめ方・叱り方・謝り方(pp.61-77)	事前学習	pp.61-77 までの「セルフチェック」と「ステップアップエクササイズ」を完成しておく。	
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。	
第7回	第4章 非言語コミュニケーション 1:表情、ジェスチャーとアイコンタクト(pp.81-90)	事前学習	pp.81-90 までの「セルフチェック」と「ステップアップエクササイズ」を完成しておく。	
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。	
第8回	第4章	事前学習	pp.91-100 までの「セルフチェック」と「ス	

	非言語コミュニケーション 2 : タッチング、空間と時間の感覚(pp.91-100)		テップアップエクササイズ」を完成しておく。
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。
第 9 回	中間発表	事前学習	発表を準備する。
		事後学習	ご自分の発表の良かったところ、良くなかったところを確認する。
第 1 0 回	中間発表フィードバック	事前学習	前回の発表についての質問やコメントを整理する。
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。
第 1 1 回	第 5 章 価値観(pp.103-113)	事前学習	pp.103-113 までの「セルフチェック」と「ステップアップエクササイズ」を完成しておく。
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。

第12回	第7章 異文化コミュニケーションスキル1: D.I.E.メソッド (pp.137-142)	事前学習	pp.137-149までの「セルフチェック」と「ステップアップエクササイズ」を完成しておく。
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。
第13回	第7章 異文化コミュニケーションスキル2: アサーティブ・コミュニケーション (pp.143-149)	事前学習	pp.143-149までの「セルフチェック」と「ステップアップエクササイズ」を完成しておく。
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。
第14回	第7章 異文化コミュニケーションスキル3: 相手の話を聞くーエポケー(pp.150-165)	事前学習	pp.150-165までの「セルフチェック」と「ステップアップエクササイズ」を完成しておく。
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。
第15回	レビュー・フィードバック・ディスカッション	事前学習	不明点を確認できるように、メモのチェックを行う。
		事後学習	授業のメモを確認して、期末レポートを書く。
期末試験			